2027年６月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月12日

上 場 会 社 名	株式会社Ｌｉｂ Ｗｏｒｋ	上場取引所	東・福
コ ー ド 番 号	1431	URL	https://www.libwork.co.jp/
代　　表　　者	（役職名） 代表取締役社長	（氏名）	瀬口 力
問合せ先責任者	（役職名） 取締役経営企画室長	（氏名）	難家 嘉之　（TEL）0968（44）3227
配当支払開始予定日	2026年12月１日		
決算補足説明資料作成の有無	：有		
決算説明会開催の有無	：無		

（百万円未満切捨て）

１．2027年６月期第１四半期の連結業績（2026年７月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年６月期第１四半期	2,447	17.7	△387	―	△288	―	△238	―
2026年６月期第１四半期	2,079	△32.7	△390	―	△403	―	△299	―

(注)包括利益　2027年６月期第１四半期　△238百万円（　　－%）　2026年６月期第１四半期　△299百万円（　　－%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年６月期第１四半期	△10.25	―
2026年６月期第１四半期	△12.88	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年６月期第１四半期	13,151	4,403	33.5
2026年６月期	13,494	4,679	34.7

(参考) 自己資本 2027年６月期第１四半期　4,403百万円　2026年６月期　4,679百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年６月期	1.60	1.60	1.60	1.60	6.40
2027年６月期	1.60				
2027年６月期(予想)		1.60	1.60	1.60	6.40

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．2027年６月期の連結業績予想（2026年７月１日～2027年６月30日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期(累計)	7,700	11.6	110	19.0	120	―	70	―	3.01
通期	16,200	3.3	580	9.9	510	78.8	280	171.6	12.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更　　：無

新規　　ー社（社名）　　、除外　　ー社　（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：無

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：無

④　修正再表示　　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年６月期１Ｑ	24,151,540株	2026年６月期	24,151,540株
②　期末自己株式数	2027年６月期１Ｑ	885,236株	2026年６月期	885,023株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2027年６月期１Ｑ	23,266,392株	2026年６月期１Ｑ	23,249,569株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー　：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その実現を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信（添付資料）３ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧下さい。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書 …… 6
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書 …… 7
第１四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（企業結合等関係） …… 8
（セグメント情報等の注記） …… 8
（キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が進む中、個人消費や設備投資に持ち直しの動きがみられ、緩やかな回復基調で推移しました。一方、物価上昇による家計負担の増加に加え、中東情勢の不安定化や金融資本市場の変動、自然災害による経済活動への影響など、景気の先行きについては引き続き不透明な状況が続きました。

住宅業界におきましては、住宅建設は総じて横ばいで推移したものの、建築資材価格や人件費の高止まりに伴う住宅価格の上昇、住宅ローン金利の上昇等を背景に、住宅取得に対する消費者の慎重な姿勢が続きました。また、建設技能者の不足や建築コストの高止まりなど、住宅供給側においても厳しい事業環境が継続しました。

このような事業環境の中、当社グループは、「サステナブル＆テクノロジーで住まいにイノベーションを起こす」をミッションに掲げ、2026年８月に中期経営計画「Lib Earth Shot 2029」（2026年７月～2029年６月）を公表しました。住宅会社から「HOUSE TECH PLATFORM COMPANY」への進化を目指し、住宅プラットフォーム事業及び３Ｄプリンター住宅事業の成長に向けた事業基盤の整備と、資本効率及び生産性の向上に取り組んでおります。

また、当社は「顧客ファースト」の方針のもと、2026年７月28日に発生した「令和８年熊本地震」に際し、お客様の安全確認と生活支援を最優先に、全社員が連携して対応しました。地震発生翌日から、震度５以上を観測した地域のお客様約1,250件を対象に電話による状況確認を実施するとともに、震度６以上を観測した地域のお客様約830件に対しては、電話及び訪問による確認・支援を行いました。その結果、確認対象のお客様に人的被害はなく、当社施工住宅において建物自体が全壊・半壊・大規模な損壊が生じた住宅は確認されませんでした。今回の地震を通じて、お客様の暮らしを守る責任を改めて認識し、今後も安全・安心な住まいの提供とお引渡し後の支援に努めてまいります。さらに、被災地域の復旧・復興支援として、同年９月に熊本県宇城市へ3,000千円の寄付を行いました。

住宅プラットフォーム事業におきましては、子会社の株式会社リブサービスが展開するIPライセンスサービス「niko and ... EDIT HOUSE」の全国展開を推進しました。当第１四半期連結累計期間には、岐阜県及び滋賀県でそれぞれ県内初となるモデルハウスが完成し、全国で公開したモデルハウスは累計30棟となりました。引き続き、新規加盟店の開拓と既存加盟店への支援を通じて、加盟店の集客力向上及び受注拡大を図り、継続的な収益基盤の拡充に取り組んでまいります。

３Ｄプリンター住宅事業におきましては、海外展開と建築コストの低減を推進するため、V3D Asia株式会社との資本業務提携を実施しました。同社が有する東南アジアでの施工実績及び現地ネットワークと、当社の住宅設計・施工・品質管理等の知見を組み合わせ、インドネシア及びマレーシアを中心とした事業基盤の構築と、品質及び価格競争力を両立する住宅供給モデルの確立を目指しております。また、土を主原料とする３Ｄプリンター住宅「Lib Earth House “model B”」の取り組みが「Newsweek International」に掲載されるなど、国内外に向けた情報発信も進展しました。

なお、当第１四半期連結累計期間において、令和８年熊本地震に伴う被災地支援及び当社の被災に係る費用として40,172千円を計上しました。一方、保有する暗号資産の時価評価に伴い、暗号資産評価益103,746千円を計上しており、これらが当期の損益に影響しております。

以上の結果、当第１四半期連結累計期間の業績は、売上高2,447,220千円（前年同四半期比17.7%増）、営業損失387,530千円（前年同四半期は営業損失390,432千円）、経常損失288,357千円（前年同四半期は経常損失403,415千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失238,511千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失299,545千円）となりました。

（２）財政状態に関する説明

（資産）

当第１四半期連結会計期間末における総資産は13,151,196千円となり、前連結会計年度末残高13,494,000千円に対し、342,804千円減少しました。主な要因は、未成工事支出金及び販売用不動産が増加した一方、現金及び預金並びに仕掛販売用不動産が減少したことによるものであります。

（負債）

当第１四半期連結会計期間末における負債合計は8,747,648千円となり、前連結会計年度末残高8,814,203千円に対し、66,555千円減少しました。主な要因は、未成工事受入金が増加した一方、短期借入金、工事未払金等、未払法人税等及びその他の流動負債が減少したことによるものであります。

（純資産）

当第１四半期連結会計期間末における純資産合計は4,403,548千円となり、前連結会計年度末残高4,679,796千円に対し、276,248千円減少しました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失及び配当金の支払による利益剰余金の減少によるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、2026年８月13日の「2026年６月期決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日公表の「2027年６月期 第２四半期（累計）業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想につきましては、本資料を公表した時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想値と異なる場合があります。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年６月30日)	当第１四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,418,606	2,407,834
完成工事未収入金等	9,818	5,557
売掛金	47,617	46,444
暗号資産	274,557	378,303
未成工事支出金	468,954	1,078,719
販売用不動産	3,818,426	4,344,619
仕掛販売用不動産	2,452,472	1,803,843
商品及び製品	157,968	170,250
原材料及び貯蔵品	60,868	55,534
その他	445,289	495,368
流動資産合計	11,154,580	10,786,476
固定資産		
有形固定資産	1,290,542	1,209,360
無形固定資産		
のれん	143,690	138,735
その他	41,931	44,765
無形固定資産合計	185,622	183,501
投資その他の資産	863,255	971,858
固定資産合計	2,339,420	2,364,720
資産合計	13,494,000	13,151,196
負債の部		
流動負債		
工事未払金等	909,181	765,151
短期借入金	4,394,700	4,269,800
一年以内償還社債	－	200,000
1年内返済予定の長期借入金	274,608	274,608
リース債務	1,638	1,478
未払法人税等	124,900	11,951
未成工事受入金	474,047	1,070,877
賞与引当金	－	30,766
株主優待引当金	142,424	135,714
資産除去債務	21,590	21,590
店舗閉鎖損失引当金	7,207	7,207
その他	832,112	609,996
流動負債合計	7,182,411	7,399,142
固定負債		
社債	200,000	－
長期借入金	963,425	894,773
リース債務	1,381	1,012
繰延税金負債	13,925	9,605
役員退職慰労引当金	108,038	109,048
完成工事補償引当金	4,735	4,735
株式給付引当金	91,241	94,873
資産除去債務	120,388	108,969
その他	128,657	125,488
固定負債合計	1,631,792	1,348,506
負債合計	8,814,203	8,747,648

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年６月30日)	当第１四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,321,507	1,321,507
資本剰余金	1,324,323	1,324,323
利益剰余金	2,566,064	2,289,752
自己株式	△532,098	△532,035
株主資本合計	4,679,796	4,403,548
純資産合計	4,679,796	4,403,548
負債純資産合計	13,494,000	13,151,196

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 2025年７月１日 至 2025年９月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 2026年７月１日 至 2026年９月30日）
売上高	2,079,160	2,447,220
売上原価	1,470,466	1,906,189
売上総利益	608,694	541,030
販売費及び一般管理費	999,126	928,561
営業損失（△）	△390,432	△387,530
営業外収益		
受取利息	3,371	4,038
受取手数料	2,549	2,824
受取保険金	2,205	1,953
補助金及び助成金収入	－	4,116
解約金収入	1,000	3,209
暗号資産評価益	－	103,746
その他	1,424	1,158
営業外収益合計	10,551	121,047
営業外費用		
支払利息	10,264	21,723
暗号資産評価損	13,118	－
その他	151	151
営業外費用合計	23,533	21,874
経常損失（△）	△403,415	△288,357
特別利益		
固定資産売却益	136	36
災害関連受取補償金等	－	12,960
特別利益合計	136	12,996
特別損失		
災害による損失	－	40,172
特別損失合計	－	40,172
税金等調整前四半期純損失（△）	△403,278	△315,533
法人税、住民税及び事業税	6,592	8,649
法人税等調整額	△110,325	△85,671
法人税等合計	△103,733	△77,022
四半期純損失（△）	△299,545	△238,511
親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△299,545	△238,511

四半期連結包括利益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 2025年７月１日 至 2025年９月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 2026年７月１日 至 2026年９月30日）
四半期純損失（△）	△299,545	△238,511
四半期包括利益	△299,545	△238,511
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△299,545	△238,511

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（企業結合等関係）

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間(自　2025年７月１日　至　2025年９月30日)

当社グループは、戸建住宅事業（建築請負事業及び不動産販売事業の総称）の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間(自　2026年７月１日　至　2026年９月30日)

当社グループは、戸建住宅事業（建築請負事業及び不動産販売事業の総称）の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第１四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第１四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第１四半期連結累計期間 (自　2025年７月１日 至　2025年９月30日)	当第１四半期連結累計期間 (自　2026年７月１日 至　2026年９月30日)
減価償却費	70,579千円	56,322千円
のれんの償却額	8,669	4,954